

# 授業科目 検査測定評価学 II

【担当教員名】 古西 勇		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療の方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、各種検査測定法の手順を修得し、評価全体の流れを修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 評価全体の流れについて述べる。 2. 徒手筋力検査法の手順に慣れる。 3. 医療記録を模倣する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 5. 疾患別の評価に慣れ、応用を模倣する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	徒手筋力検査法 総論, トランスファー (移乗) 動作と筋力	2, 4	講義, 小テスト, 演習		
2	理学療法評価 総論, 情報収集・医療面接, 整形外科疾患, 評価項目の選択, 障害のとらえ方と PT 評価過程, 歩行分析	1, 3, 4, 5	講義, 演習, レポート課題 (歩行分析)		
3	セミナー	5	実習		
4	セミナー	5	実習		
5	評価の考え方, 記録 (見学の記録, 症例報告)	1, 3, 4, 5	講義, 演習		
6	セミナー	5	実習		
7	セミナー	5	実習		
8	評価の応用, 専門用語の理解	1, 3, 4, 5	まとめ		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・徒手筋力検査法 第8版	Hislop HJ 他	協同医書出版社	2008・7,875円
		シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト	細田多穂(監修)、星文彦(編集)、伊藤俊一(編集) 他	南江堂	2010・5,700円+税
参考書		診察と手技がみえる vol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
		理学療法評価学 改訂第4版	松澤正 他	金原出版	2012・6,200円+税
		ベッドサイド神経の診かた第17版	田崎義昭	南山堂	2010・7,560円
その他の資料					
【評価方法】 課題レポート(歩行分析)12点, セミナー(4回)の提出物(各回12点, 4回で48点), 筆記試験40~50点(出席状況により減点することあり)を総合して評価する。			【履修上の留意点】		